



↑ 学校ホームページもご覧ください。



綾瀬小だより

4月号

令和4年4月6日

足立区立綾瀬小学校

校長 臼田 治夫

引き続き7年目の学校運営を務めます

本年度も、綾瀬のまちの学校の運営を務めさせていただき校長の臼田 治夫です。榎本 洋子 副校長をはじめ教職員と共に、より充実した教育の実現を目指して参ります。本年度もどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症の影響下で

まん延防止等重点措置が解除されたものの、第7波が心配される中、今年度がスタートしました。

教育活動に関しては、その都度求められている生活様式や示されたガイドラインに基づき、制限すべきものは制限し、条件付きでできるものは条件付きで行うなど、柔軟に対応してまいります。

また一方で、子どもたちひとりひとりが、3密回避やマスクエチケット、手洗いを習慣化して、この感染症から自身の身体を守っていくよう指導に努めて参ります。

引き続き、家庭での感染防止対策の徹底と、健康状態の管理をよろしくお願ひします。

1年生5学級、全児童808名の25学級でスタート

1年生に150名（5学級）を迎え、全児童808名（25学級）となりました。それぞれの学年でそれぞれの学年に相応しい成長を見せてくれるよう、子どもたちを「綾瀬の宝」としてお預かりし、保護者様、地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、教職員一丸となって指導の充実に努めて参ります。

子どもの居場所づくりを目指して

学校生活の一日を振り返ると、登校から下校までの時間、子どもたちが安心して過ごせる場所の確保が求められています。また、現在子どもたちの遊びの時間が十分に取れない中、保護者の皆様からのご意見などを参考に「朝ぱれ」や「放課後遊び」を検討しています。子どもにとって身体を動かすことで脳が活性化され学びに向かう集中力が高まります。

さらには、「チャイムスタート、チャイムフィニッシュ」を徹底し、昨年度試案として導入した「WAスタンダード（足立区の授業スタンダードを踏まえた『綾瀬小学びのスタンダード』）」に基づきながら、主体的・対話的で深い学びを行い、子どもたちの頑張りを笑顔で価値付けて、学びの習慣化を図っていきます。

なお、今年7月を目処に新1年生にも一人一台のタブレット端末が貸与されることとなります。校内での活用を中心に各ご家庭でも利用できるよう準備を進めております。学習ツールの一つとして自在に活用できるよう、指導を充実させていきます。

家庭での学習課題（宿題）は原則なし！

今年度も「授業の中で学力を確実に向上させる」よう、毎時間の授業を充実させて参ります。

ひとりひとりの学習状況に応じた「個別最適化の学習」が求められている中、一律に宿題を課するのではなく、必要なお子さんに必要な内容を提示し、ご家庭での支援が可能な場合に行うべきだと考えています。こちらは個人面談での相談内容とさせていただきます。

子どもにとっては、教科の内容だけでなく、友だちと遊ぶこと、運動やスポーツをすること、買い物に行ったり一緒に料理を作ったりすること、読書することなども大切な学びです。そうした放課後の幅広い学びを保障する措置でもあります。

なお、授業以外での反復学習や更なる理解が必要な場合は、放課後補習教室を中心に個別に指導します。

標準服の導入がスタートしました

今年度の新入生から標準服がスタートしました。本校開かれた学校づくり協議会が導入を決定した標準服は、制服とは異なり着用を強要するものではありません。あくまでも任意での着用です。ご理解の程よろしくお願い致します。

なお、標準服着用の際には、着方指導や行事等における指導等も行います。

また、衣替えの時期には、私服等の自由な選択も可能になりますので、お子様の意思で服を選び着用することもできます。

この標準服は「綾瀬のまちの学校」の証として、今後、位置付けられて行くことでしょうか。どうぞよろしくお願い致します。

